

1 諸報告

(第3回全県推進協議会 (300日前イベント) の結果)

第3回全県推進協議会（300日前イベント）の結果

- 日時 令和6年6月17日（月）14:00～16:30、場所 モントレ姫路3階「ヴェルベデーレ」
- 参加者 186人（会場113人、オンライン73人） 会場参加156人（会場113人＋随行43人）
- ※別途、神戸新聞、産経新聞、サンテレビ、姫路ケーブルテレビ等7社、10人参加
- <エクスカーション> 江崎福王会「能」：4名、坊勢島漁業見学・体験：18名

■内容

区分	主な発表内容・知事及び委員からのコメント
<p>万博を契機とした県内各地での取組発表</p> <ul style="list-style-type: none">・神戸ファッション協会・丹波篠山国際博実行委員会	<p>神戸ファッション協会（藤本事務局長）</p> <ul style="list-style-type: none">・県内5国のアーティスト、海外デザイナーとの連携・4/26（土）～4/30（水）、万博会場ギャラリーWEST出展 <p>【知事、委員からのコメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・キーワードはコラボレーション。今後とも県内各地での取組にフィールドパビリオンをコラボしていくような展開に期待・イベントをすることが目的となりがちだが、将来を見据えた取組であった。万博ではナショナルデーが設けられるため、インバウンドだけでなく各国首脳へのPRを意識した取組が求められる

第3回全県推進協議会（300日前イベント）の結果

区分	主な発表内容・知事及び委員からのコメント
<p>FPプレイヤーによる万博会場出展に向けた取組発表</p> <ul style="list-style-type: none">・ JICA関西・ 桔梗隼光鍛刀場・ (株)藤原	<p>桔梗隼光鍛刀場（桔梗光史さん）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 体験の8割がインバウンド客、インバウンド客には、優しい日本語とポークで対応・ 路線バスやレンタカーを使って来る方が多い <p>(株)藤原（藤原専務）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本業の従業員の働きがいのため、新たな酒器づくり体験事業を開始・ インバウンド客向けの専門用語のために絵本を活用 <p>【知事、委員からのコメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 二次交通や多言語対応といった課題がネックと考えているプレイヤーも多いが、各々の体験内容の魅力的な発信、フィールドまでの行程や日本語でのコミュニケーションを楽しむ等の発想転換などプレイヤーの工夫により、どんな課題も乗り越えていける。・ 各課題に完璧に対応しようと思わず、不便さなども前向きにとらえて、できることから始めていけば、あらゆる課題に対処できると考える
<p>FP同士の連携事例発表</p> <ul style="list-style-type: none">・ パソナ農援隊・ ANA関西空港・ 淡路島観光ホテル	<p>淡路島観光ホテル（上村代表（女将））</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「淡路島の未来のために」をキーワードに島内FPをネットワーク化・ ツアー化、イベント化、周遊のきっかけ作りなどの事例紹介 <p>【知事、委員からのコメント】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 旅行商品化することは、フィールドパビリオン同士の連携の見える化につながる。連携のために共通するのは引っ張っていくリーダーの存在。・ 万博後も広く展開するために、各施策にフィールドパビリオンをコラボしていくような取組を県としても進めていく

第3回全県推進協議会（300日前イベント）の結果

■各プレイヤーのその後の取組み

区分	内容
神戸ファッション協会	<ul style="list-style-type: none"> 6/27（木）万博会場（R7.4/25～4/30）での出展に向け神戸ファッション協会、万博推進課、地域産業立地課と打ち合わせ（次回、7月下旬に打ち合わせ予定）
丹波篠山国際博覧会実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 7/23（火）淡路島博事務局（淡路島観光協会）、丹波篠山国際博事務局（丹波篠山市）で、双方の取組みの情報共有予定
桔梗隼光鍛刀場	<ul style="list-style-type: none"> 6/22（土）さとまちがたの博事務局スタッフ（平櫛企画委員）が、訪問し、日本刀づくり体験
A N A 関西空港（万博推進局へ出向中）	<ul style="list-style-type: none"> 6/22（土）～24（月）日本酒を主題とした台湾ツアー参加者のうち、台湾での日本酒や酒器の販売に向けた台湾事業者をフィールドパビリオンなどの酒蔵4ヶ所（稲見酒造、神結酒造等）、酒器2ヶ所（(株)藤原、丹波焼き）へ案内 6/14（金）万博推進局(蔡さん)とtamaki niime(ティナさん)と台湾誘客に向けた打ち合わせ <p>※6/7（金）～12（水）台湾プロモーション時に職人向けに三木金物×播州織ツアーへの関心あり</p> <p>※7/11（木）・13（土）台湾からの小学生サッカーチームの来訪</p> <p>7/11 ヴィッセル神戸、アシックススポーツミュージアム、兵庫津ミュージアム（コウトリ折り紙体験）</p> <p>7/13 Meister（マイスター）</p>
(株)藤原	<ul style="list-style-type: none"> 6/23（日）上記の台湾事業者（2人）を受入れ、体験内容のブラッシュアップ（左利きへの対応、通訳+説明時間の確保、ピクトグラムでの表示 等）

第3回全県推進協議会（300日前イベント）の結果

■各プレイヤーのその後の取組み

区分	内容
淡路島観光ホテル	<ul style="list-style-type: none">・ 6/21（金）第2回淡路島地区ネットワーク会議（次回、9月に第3回会議予定）<ul style="list-style-type: none">・ お互いの体験プログラムの共有のためパソナ農援隊での体験会・ 意見交換会（300日前イベントの共有、県Instagramとの連携、島内プログラムの現状の共有等）・ 7/2（火）島内フィールドパビリオンと県Instagramとの連携に向けた打ち合わせ
パソナ農援隊	<ul style="list-style-type: none">・ 観光庁補助金を活用し、フィールドパビリオンを含んだインバウンド向けツアーの造成、販売に向けて取組みを加速化（事業費34,000千円、補助金17,000千円）

1 諸報告

(プレフィールドパビリオンフェスティバル (仮称) の進め方)

プレフィールドパビリオンフェスティバル（仮称）の進め方

■プレFPフェスの概要

場 所	日 時（各日10～17時の予定）			内 容
	10/12（土）	13（日）	14（月・祝）	
スペースシアター（650㎡）	○	—	—	○ ステージイベント ○ 飲食、試飲
デュオこうべ（450㎡）	○	○	予備	○ 展示、物販、実演、ワークショップ、体験等

- 各FPは、**1日のみ出展**
- ブースのサイズ：**4㎡/1プレイヤー**（**単独ブース**、複数プレイヤーによる**共同ブース**を設置）※出展数によりブースサイズは変動予定
- 県が**テーマ性**（山田錦、創造的復興等）や**エリア**（淡路島等）により**グルーピング**
- 展示のほか、**実演やワークショップ**スペース等も設置予定
- 今後のスケジュール（7/中旬）参加者決定、（8/末）事前説明会、（9/下旬）記者発表

■プレと本番の比較

項目		プレ（プレFPフェス）	本番（FPフェス）
会場	ステージイベント等	【スペースシアター】650㎡×1日 = <u>650㎡</u>	【ギャラリー】屋外（屋根付き）300㎡×5日 = <u>1,500㎡</u> 【ポップアップステージ西】屋外 50㎡×5日 = <u>250㎡</u>
	展示等	【デュオこうべ】450㎡×2日 = <u>900㎡</u> ※別途、予備1日	【ギャラリー】屋内（100+200）㎡×5日 = <u>1,500㎡</u>
試食・試飲等		・スペースシアターで可能（ アルコール提供可能 ） ・調理の可否については 相談中	・屋外で可能（ アルコール提供の可否は未定 ） ・調理は 可能 だが、 直火は不可 （詳細確認中）
キャッシュレス対応		・各FPが 可能な範囲 でキャッシュレス決済を導入	・全て協会手配の専用機器によるキャッシュレス決済
多言語対応		可能な範囲で、二言語対応（日・英）に取り組む ・サインは、 二言語で表記 （県） ・FPが行う説明や印刷物等は、 可能な限り取り組む （磨き上げ研修の資料を県から再周知）	二言語対応（日・英）を原則とする ・サイン・印刷物、場内アナウンス、説明文やキャプション等は、 二言語の表記 が必須 ・説明等は、 翻訳アプリを活用 するなど配慮

1 諸報告

(万博開幕に向けたFPの一体的な取組)

万博開幕に向けたFPの一体的な取組

